

☞S-36 倉明山(くらげやま)～ 芋掘ドッケン マイカー

期 日 11月2日～3日(土・日) 曇

参加者 3名

費 用 ¥4000(ガソリン・宿泊費・食費)

行 程 2日 13:30 さいたま市南区ー17:00 下吉田キャンプ場

3日 4:40 下吉田キャンプ場ー5:50 滝ノ沢望郷広場 6:10ー8:35 倉明山  
8:45ー9:40 1331 峰ー10:35 芋掘ドッケン 10:45ー11:45 1441 峰 11:  
55ー12:05 白井差峠 12:25ー13:45 中双里 14:22 バス(¥380)ー15:00  
滝ノ沢望郷広場

## 1 日目

係 O さんの配慮により、さいたま市南区のセブンイレブンに集合し、秩父の下吉田キャンプ場へ出発。今宵の献立はキムチ風チゲで乾杯。日本シリーズをまったく気にすることなく山談義・膝痛談義に浸り翌朝早出のため 21:00 就寝となる。

## 2 日目

車で登山口の滝ノ沢望郷広場へ出発。この広場は、滝沢ダム建設に伴い、この地区に 42 戸の住民が住んでいたが、移転のために作られた広場で駐車場には立派なトイレがある。しかし殆ど訪れる人のいない広場で、多分マニアックな廃村・廃町を趣味としている人が訪れるぐらいと思われ、私としては何時か廃村の見学をしたいと思っていたので、願ったりかなったりで山よりこちらの方が興味深かった。この元集落の遊歩道を抜け東側からの尾根にとり着くが、尾根まではかなりの急登で、直登するとハードワークを強いられるのでトラバースしてとり着く。尾根に着いた後は、ひたすらその尾根を直登すると立派な標識のある倉明山に着く。倉明山から芋掘ドッケンは若干のアップダウンのある尾根歩きで今時期は、オレンジや黄色が映える紅葉の中を歩くので気持ちいい。途中 1331 峰の岩から真正面に芋掘ドッケン山頂と両神山がよく見える。1331 峰から標高にして 30m 程下り、芋掘ドッケンを目掛け登り返し、平たんな丘の先に三角点がある芋掘ドッケンの山頂に着く。この山頂は平たんで、樹林帯のため倉明山より展望はない。芋掘から白井差峠までは地図で確認しないと、西寄りに行く可能性がある。進路を北西に延びる尾根を歩くと 1 時間程で最後のピーク 1441 峰。さらに 20 分程で登山道のある白井差峠である。白井差峠からは、高低差 800m を一気に下るが、一般登山道である事と、ジグザクに切った登山道のため歩きやすい。中津川の音がどんどん近くなり集落が見えるとすぐに中双里着となる。中津川を渡ればバス停は目の前にある。土日のバスは午後から 2 本しかなく、目指していた 14:22 のバスに余裕で着くことが出来た。このコースは全体的に葉がある時期は景観がないので落葉の時期がお勧めしたい。自分の山行履歴に渋い山の 1 ページが加わった。



滝の沢集落の案内板



住居があった痕跡がいたるところにある



最初の難所、急登を登り尾根に出る



紅葉の中、尾根を登るが結構しんどい



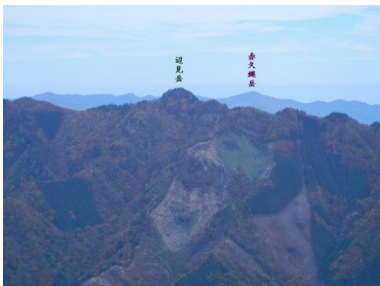
倉明山頂は木の間から山座同定が楽しめる



紅葉は真っ盛りで綺麗です。



〇さんより山座のレクチャーを受ける



〇さんよりレクチャー II 埼玉百山の生き字引



1331 峰から両神山がでかい



1331 峰から紅葉している芋掘ドッケン。

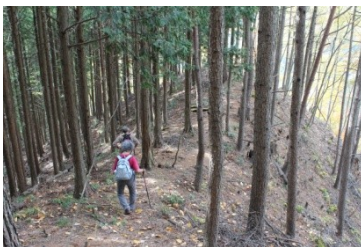
ドッケンとは「突(山頂)」の意味。形を見るとちょっと富士山風。



芋掘ドッケン山頂。三角点が無ければ極めて地味。



白井差峠より 800 m 下る



結構な急坂を 1 時間下る



紅葉の両神山。山頂は岩峰なのが木の間から見える



最後は両神山の登山口に着く



中双里から秩父槍ヶ岳